

## 首都東京を守る消防団に入団しよう

### 今 あなたの力がが必要です 消防団員募集

消防団は火災などの災害活動をはじめ、応急救護の普及活動や災害を未然に防ぐための啓発活動など、幅広い活動を行っています。会社員や自営業、学生や主婦など様々な職業や年齢層の方々が、「自分たちの町は自分たちで守る」という精神のもと、地域に密着した活動を行っています。

特別区消防団の主な活動内容

災害時の活動	火災時	1 逃げ遅れ者等の情報収集 2 救出、救護活動 3 可搬ポンプを活用した消火活動 4 消防警戒区域の設定
	水災時	1 被害状況等の情報収集、監視警戒 2 水防活動（土のうによる越水の防止等） 3 地域住民の避難誘導等
	震災時	1 地震の被害や逃げ遅れ者等の情報収集 2 可搬ポンプを活用した消火活動 3 住民の避難誘導や応急救護等 4 消防署隊の応援活動
災害時以外の活動	防火防災指導 応急救護指導	1 地域住民に対する防火防災指導（出火防止、初期消火等） 2 市民消火隊、自主防災組織等に対する消火活動の指導 3 救命講習等における指導
	予防警戒	1 年末年始消防特別警戒 2 各種催物等に伴う消防特別警戒
	教育訓練	1 消火活動、応急救護活動等、各種災害活動技術の訓練 2 防災指導技術の訓練 3 礼式等の規律訓練
	機械器具 の整備	可搬ポンプ等、消防団保有資機材の点検整備

**消防団への入団条件は、たった3つ!!!**

- 1 年齢18歳以上の方
- 2 心身ともに健康な方
- 3 消防団の区域内に居住・勤務  
又は通学している方



# 浅草地域災害時来街者対応訓練を実施

令和3年3月23日、浅草文化観光センターで浅草地域災害時来街者対応訓練を実施しました。この訓練は、地震など大きな災害が起きた際に公共交通機関が停止し、怪我人や帰宅困難者が多数発生することを想定し訓練をしています。例年は浅草寺境内で大規模な訓練を実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して実施しました。訓練では、消防団とともに浅草観光連盟の皆様と、物干し竿と毛布を使った担架の作り方や手ぬぐいを活用した止血方法の確認を行いました。



訓練に合わせて、発災から10年が経過した東日本大震災における東京消防庁派遣隊の活動の様子を当時の写真を交えながら紹介しました。東日本大震災では、東京消防庁から88日間にわたり約3000人が東北地方に派遣され、消火活動や人命救助活動に従事しました。



## 日本堤消防署管内の災害状況[令和3年中] (令和3年4月1日現在)

火災件数	4件
焼損床面積	5㎡
救助件数	43件
救急件数	1310件

## お問い合わせはこちらまで

日本堤消防署 03-3875-0119  
 日本堤消防署今戸出張所 03-3873-0119  
 日本堤消防署二天門出張所 03-3845-0119  
 E-mail nihondutumi2@tfd.metro.tokyo.jp

メールマガジンについてのお問合せは日本堤消防署警防課防災安全係にて受け付けております。

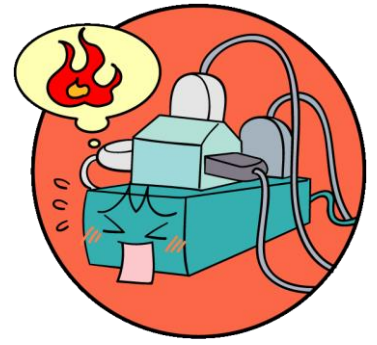
# 注意!! 管内で火災による死者が発生!

日本堤消防署管内で発生した火災により死者が出ました。  
出火原因は調査中ですが、火災の多くは電気コードやたばこなどが原因となっています。  
ご自宅での火の取り扱いには十分注意してください。

## 出火防止のチェックポイント

### タコ足配線に注意!

コンセントや延長コードは容量が決められています。許容電流を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、発熱して火災の原因になります。タップは決められた容量で使用しましょう。



### トラッキングに注意!

プラグにほこりがつき湿気を帯びると、火災の原因になります。定期的に掃除し、使わないプラグは抜いておきましょう。見えにくい場所のコンセントは特に注意しましょう。



### 電気コード注意!

コードを家具で踏みつけたり束ねたまま使用すると断線し火災の原因になります。電気コードを家具の下敷きにしたり束ねて使用せず、折れ曲がりに注意しましょう。

